

第4号様式（第8条関係）

議 事 録

会議名	令和6年度 第1回寒川町環境審議会		
日 時	令和6年7月25日（木） 14時00分～16時30分	開催形態	公開
場 所	寒川町役場東分庁舎2階 第1会議室		
出席者名 欠席者名 及び 傍聴者数	<p>【出席委員】片谷会長、三島副会長、中門委員、松久委員 河村委員、大野委員、初鹿委員、米山委員、弓座委員</p> <p>【欠席委員】中峰委員、齋藤委員、鈴木委員、市村委員、平本委員</p> <p>【事務局】原田環境経済部長、大山課長、椎野副主幹、越原主査</p> <p>【傍聴者】1人</p>		
議 題	<p>(1) 副会長の選出</p> <p>(2) 令和5年度版 寒川町環境報告書（案）について</p> <p>(3) 第3次寒川町環境基本計画の中期見直しについて</p> <p>(4) その他</p>		
決定事項			
議 事	<p>1 開会</p> <p>2 環境経済部長あいさつ</p> <p>3 出席者自己紹介（委員・事務局）</p> <p>4 議事録承認委員の選出：大野委員、初鹿委員</p> <p>5 議 題</p> <p>（1）副会長の選出 立候補なし。会長より案として昨年度の坂本委員に引き続き、副会長には県環境科学センターの三島委員を推薦し、各委員の了承を得て決定した。三島副会長より就任のあいさつ。</p> <p>（2）令和5年度版 寒川町環境報告書（案）について ※新任委員がいることから環境報告書の構成や内容を確認してもらうため、各章ごとにポイントを絞って説明することとした。</p> <p><1. 寒川町環境基本計画の趣旨>P1～P2 <2. 第3次寒川町環境基本計画について>P3～P10 事務局より上記の章の概要を説明。</p>		

※質疑

(片谷会長) 発言いただく際は、資料の何ページと場所を指定してご発言いただきたい。また、寒川町のスローガン「新化するまち」というのは、昨年議論があり、あまり聞きなれないといった意見もあったが事務局の熱意によりこのようにまとめることになったという経緯があるのでご承知いただきたい。

(中門委員) P3にある「“新化”するまちさむかわ」の脚注を下の方に入れていただきたい。入れることで、作った方の思いなどが共有できるのではないか。

(片谷会長) 環境課の意思表示として、ぜひ説明を追記していただきたいと思う。

<3. 令和5年度さむかわの環境の概要>P11~P18

事務局より基本目標の項目のうち主なものについて説明。

※質疑

(松久委員) P11の「1-1. 空気と水をきれいにする」の川の水質調査の件について、事務局としては小出川の水質の環境が悪くなることは仕方がないと思っているのか。

(事務局) 悪いままでよいとは思っていない。県の協力を得ながら、調査を重ねてきたところではあるが、水質がよくなる取り組みが見いだせていない状況ではある。

(松久委員) 原因がどこにあるかというのは把握しているか。

(事務局) おおよその検討はついているが、有効な対策は見出せていない状況。

(中門委員) 小出川の水質調査は、エコネットや相模川流域協議会でも20年近く参加しているが、昔は悪いときはCODが8という数値だったが、今では悪くても3、4ぐらいまで落ちてきている。必ずしも悪いだけでなく、何かまだ課題があって、そこを改善していけば少しよくなって、何か見えてくる。何かいろいろな機器等を使用して、悪い点に焦点を当てて見ていくといいのではないか。また、一昨年に小出川に泡が流れ込んできて、生き物が死んでしまったときも、原因があって結果がこうですといったデータを出してあげたほうが分かりやすい。10年前から比べると、悪くなっているのは半減しているように思える。

(片谷会長) 三島副会長、寒川町だけでなく、河川の状況はどのような感じか。

	<p>(三島委員) だんだん良くなっている傾向は見える。アンモニア態窒素や硝酸態窒素などを地図に表せば、原因や傾向がわかっていいと思う。</p> <p>(中門委員) アンモニア態窒素と硝酸態窒素を組み込んで使ったら違ったかたちが見えてきたので、小出川には違ったものを入れてみると、何かもう少し見えてくると思う。</p> <p>(三島委員) 報告書には別紙や別注で表されてもいいと思う。</p> <p>(松久委員) 環境課とさむかわエコネットでお互いに意見を言い改善しているなかで、小出川に特化すると、新道橋から上流はすごくいい、それ以降悪くなっており、県が指定している下流側は水質がよい結果となっている状況。我々が県とは別のところでやっている3カ所は水質がよくない。なぜ良くないか突き詰めたいが行政の壁にぶち当たっている。目久尻川は川の付近のごみ拾い、4市1町でいろいろ行い、水質が良くなったが、小出川については県と3市で打ち合せをやっているがなかなか合意点に達しない。県のほうにも何度か相談に行くが、それぞれの立場で話すから全く進まない。このままでは孫やひ孫などの将来の人たちに自然に対する関心がなくなっていく。なんとか自然に触れさせながら、うまく育ててもらいたいとは考えるが、その手助けがどんどん削除されている現状。</p> <p>(片谷会長) 硝酸とアンモニアが高いのか。</p> <p>(中門委員) 2カ所だけは明らかに色がすぐ変わってしまう。</p> <p>(三島委員) し尿みみたいなものが流れ込んでいるのか。</p> <p>(松久委員) そこまでは行き着いている。要は、畜舎の排水基準と河川の基準は異なり、畜舎の基準は達していて、河川の基準は達していない。畜舎の基準を厳しくすると、家畜運営に非常に重荷になっていく。何とか、畜舎の基準を見直さない限りよくなる。これは悪くなる一方。</p> <p>(片谷会長) 勤務先が町田市にあるが、データをみる限り、アンモニアは高い値がでるが、全体的には下がってきていて、高い値も滅多にでない。町田市の畜産農家がなくなってきたせいもあると思うが、町田市の境川ではCODはせいぜい3で、10という数値がでることはない。アンモニアということならば、畜産をやっている事業者と相談する機会を作ってもいいのではないか。評価のために協力をお願いしたいという呼びかけなら、受け入れていただけるのではないか。</p> <p>(事務局) その畜産農家が寒川の町域ではない。</p> <p>(片谷会長) でも、寒川町内の川で高い値が出ているのだったら放っておけない。</p> <p>(事務局) 市町の環境保全の会議でも話はさせてもらっている。</p>
--	--

	<p>(片谷会長) なにか出来ることからやっていくという方針でないと、いつまでたっても改善はされない。出来ることは何かという観点で考えていただきたい。</p> <p>(松久委員) P15の「3-2. 再生可能エネルギーの利用を推進する」にあるゼロカーボン推進対策設備等導入補助金の補助件数が74件から98件に増えたとのことだが、なぜ増えたのか理由が知りたい。次に湘南エコウェーブの取り組みについて、参加した小学生がどういう受け取り方をしているのかと、環境に対してどういうことを考えているのか、そういった意見を聞いたらいかがかと思う。</p> <p>(片谷会長) 小学生の環境への関心に対して、河村委員は意見あるか。</p> <p>(河村委員) やはり今の小学生は外で遊ぶよりも、家でゲームをして遊ぶ時代なので、学校のグラウンドや花壇の自然に触れて、これはどうか、や育ててみるなどの話をするとそういう経験がないので、逆に食いつきがすごい。このような取り組みは大事ではないかと思う。</p> <p>(片谷会長) 小学生に関心を持ってもらえるような、取り組みを考えられたらいいと思う。</p> <p>(松久委員) 一つは、ゼロカーボン推進対策設備等導入補助金の補助件数が74件から98件に増えたのは、環境に関心があるからなのか、それとも個人的に補助金がもらえるからか。その辺は今後の対策になると思うので、意見をまとめてみたいと思う。二つ目の環境バスツアーは小学生からアンケートか何かを取って、定量的なデータ取りをしたらどうかと考える。</p> <p>(片谷会長) ゼロカーボン推進対策設備等導入補助金は、例えばエコカーは、燃料代が大幅に節約できるのでそういったメリットも非常に大きいはずなので、アンケート等で調べられると思う。たくさんの転換が実行されたという定量的なデータになれば、予算的な裏付けは必要になるかと思うが、それをもっと呼びかけていけばいい。再生可能エネルギーへの転換は地球全体で進めなくてはいけない話なので、補助金の効果でこれだけ増えたとはっきり言えば、メリットに気付く方が増えて、補助金の申請者が増える期待は持てるのではないかと思う。</p> <p>(事務局) なぜ補助金の申請者が増えたかといったご質問に関して、内訳をみていただくと、太陽光発電設備やそれを基に使う蓄電池の申請が伸びていることがわかる。推測するに、昨今の電気代の高騰がひとつの大きな要因かと考える。ただ、価格面だけでなく環境のCO2削減の効果があることは私たちで広くアピールしていかななくてはいけないと思う。また、湘南エコウェーブの事務は、アンケートがとれる事業ととれない事業</p>
--	---

がある。例えば、緑の保全セミナーは屋外かつ猛暑の中だったため、アンケートは取れなかったが、河村委員が仰った、子どもたちの食いつきが、肌感覚でもすごく大きかったと感じた。日本大学の生物資源科学森林課の方にご協力いただき、実施したものだが、子供たちがとても関心を引く質問をしており、時間が足りないような授業を行えた。アンケートが取れたものでは、例えば川崎のエコ暮らし未来館では楽しみながら再生可能エネルギーを学んだり、横浜の計量器のメーカーさんで水素の実験設備を実際に体験したり、体験型の事業で面白かったという内容があった。

(片谷会長) 先ほどの話に出てきた太陽光パネルと蓄電池の組み合わせは非常に有効だと思っており、実際自分も東京都の補助金を受けた。地震があって停電が起きても計算上2.3日は持つのですごく安心感があり、それだけでもすごくメリットがあると思う。補助金以外自腹でも結構払ったが、安心感を買ったと思えば、それほど高いものではない。補助金のおかげで、全額自分で負担するのに比べれば少ない額でできたので、近所の人にも勧めているが、特に災害対策の意味も大きい。環境課の仕事ではないかもしれないが、蓄電池をはじめ導入され始めているため、そういったアピールで促進していいと思う。

(中門委員) P16の「4-1. ごみの減量化や資源化を推進する」について、キューロは年間目標10台のところ16台とかなり使っていて、人が増えたところがあるのだが、一番減量化に肝心なのは水切りではないかと思う。キューロの他に水切りが簡単にできるものがあれば、かなりの量が減量できるのではないかと思う。また、焼却センターに水がないものを持っていけば、燃料費も少なくなり効果的なのではないか。

(片谷会長) 気が付いていない方も結構いる。

(中門委員) ごみのゲンゾウとかチラシなどで書いてあることは参考になるので、水切りのことも書いてあるとかなり減量につながっていく。

(事務局) 3切り運動といって「食べきり、使い切り、水切り」と言葉では言っているが、具体的にどうやるのかまではなかなか増えていない部分もあるので、今のことを参考に、やり方としては具体的にはこういうのがあると示していきたい。

(片谷会長) それはぜひ進めていただきたい。

(中門委員) 友達のごみ収集芸人の武田くんはいろんなアイデアがあり、非常に面白い。

(片谷会長) アイデアは使わせてもらえるのか。

(中門委員) あまり気にせず、使わせてもらえる。

(片谷会長) 協力者として名前を載せれば義理は果たせると思うので、町の広報でぜひ載せてみてはどうか。

(松久委員) 滝沢さんの講演にも行ったが、プロとしてやっている方から話を聞くと、みなさん感化されると思うので、そのような企画をしたらよいと思う。

(片谷会長) 可能性としては十分あるので、事務局で検討してみてほしい。

<4. 第3次寒川町環境基本計画に示した取り組みの評価(令和5年度)

> (1) 基本目標の環境指標達成状況と取り組みに対する評価と総括

(評価方法について) P19~20

事務局より環境指標の達成状況に基づく評価、取り組みの評価について、どのような考えに基づき評価しているか説明を行った。

※質疑

(松久委員) 評価の結果がいろいろ書かれているが、これは進捗管理ができるような表にはできないか。例えばP23「1-1 空気と水をきれいにする」の評価表で前期という期の区切りはわかるが、その6か月間のどこに焦点をあてて、終わらせるということとはできないか。早く終われば次の何かの仕事にマンパワーを振り向けることができるのではないか。これは1月までに終わらましようとして決めて、評価が達成できれば、そのマンパワーは次にいく。達成できなければ、そこで議論を重ね、次にどうするという議論になると思うが、どうか。

(事務局) 今のご意見は、達成した目標は触れないで、次の目標にという話かと思うが、指標は年度で区切り、年度ごとに達成した指標の設定をしているため、達成したから翌年度以降は見ないという取り扱いはしていない。

(松久委員) そうではなく、仕事のやり方のことを言っている。評価の評価表のそのものが、いいか悪いかではなく、この評価の結果を出す過程、その計画をいつまでに終わらせたいという、そういう結果が出せないか。

(片谷会長) そもそも計画を立てる段階で、その目標はいつまでに達成を目指すといったことは、計画には書かれているか。

(事務局) 12年という計画の中で、例えば環境指標では、前期、中期、後期それぞれ何件という立て方をしている。

(片谷会長) 現在、目標達成のためにやろうとしていることは、時系列的に並べられている形ではない。時間軸方向に繋がって動いていくものであれば、進捗管理はしやすいが、みんな別々に動いているものを時系列的に進捗管理するのは非常に難しいこ

	<p>とだが、現状ではそういう管理の仕組みになってないという理解でよいのか。</p> <p>(事務局) そのとおり。前期、中期、後期のそれぞれの最終年度までに達成することを掲げている。</p> <p>(片谷会長) 3年経つと、進捗したかどうかを表に出すが、時系列的な管理の方式ではない。これを今すぐに切り替えるのは、そう簡単なことではないので、次に来る次期環境基本計画では、そういう検討をしましょうというご提案としては受けられるが、現行のものに適用するのは無理だということによろしいか。</p> <p>(松久委員) 十分そこは理解している。県もそうか分からないが、町のやり方はみんなこれである。これだと民間としては進みが分からない。結果として、悪かったのか、良かったのかそれだけ。そうではなくて時系列的に物事をみていくと進め方が良い、悪いとチェックができるではないか。そういうことをやっていただければありがたいという要望である。</p> <p>(片谷会長) 次のステップとしては考えなくてはいけないことであろうと思う。工程表みたいなものでチェックしていくような仕組みが今のところない。次の、計画を作るときに、今のご提案のようなやり方がどこまで導入できるか検討すると、解釈した。</p> <p>(松久委員) 町長を含めた町全体として、仕事のやり方をどうするのかに繋がっていく。環境課だけが進捗管理ができる、評価が出来る仕事のやり方は出来ないと思うので、町として変えないといけない。町民としては、結果だけ見せられるのではなく、状況の確認というのも見たい。</p> <p>(片谷会長) 今後の計画や次の計画を作るときに、工程管理みたいなことをどの程度入れられるのかという今後の課題という意味でのご提案とする。</p> <p>(中門委員) P21「基本目標に対する総括」があり、環境指標の数に対し、前年の基準年度より後退している指標が多いと感じた。なぜこんなに後退しているのか町民としては気になる。例えば、「1-1 空気と水をきれいにする」は30.8%しか達成していない。環境活動を一生懸命やっている割には良くないと思ってしまう。一生懸命やっているけど、それがどこに繋がっていくのか、こうなったらこうなりましたと繋がって見えるようになると良いのではないか。このページだけみると頑張っていないように見える。</p> <p>(片谷会長) 後退したという判断をしたのは、その原因として考えられることのなにかしら記載があった方がいい気はする。</p> <p>(中門委員) ここはすごい気になる。気になるところは記載をつけてあげるといいと思う。</p>
--	---

(片谷会長) 後退したという評価をしたものに関しては、何かコメントを書くように検討いただけないか。

(事務局) 承知した。この理由としては23ページの欄がそれに当たる。ここには後退した理由の記載はないが、どういったものがあるのかは記載している。

(片谷会長) やったが、大した効果があげられなかったというのは、さぼっていたという意味ではなく、何か方法の面で改善できる点があるのではないかということ。確実に一つの理由に帰結できるかどうかは分からないが、考えられる原因みたいなものを、2つ3つ書き並べてみるというのは、次のステップのときに、改善できそうなことがあればやってみる、そういうデータにはなる。

(中門委員) そこの対比として、例えばP44(2)重点プロジェクトの評価では、数値管理目標を達成したのが、全体で23個と、他の進んでいないものと比べると非常によく達成できている。ここをみると頑張っていると思うが、なぜ前年よりも後退しているものが多いのか疑問に残る。

(片谷会長) これは事務局で具体的にどういう方法でやるかに関しては、事務局で検討いただき、今年度の事務局案としてだしていただきたい。

(取組みに対する評価と総括について) P21～P43

(2) 重点プロジェクトの評価について P44～P48

事務局より基本目標に対する総括と評価について説明を行った。

※質疑

(中門委員) 基本的なところで、評価の3と4の違いがよく分からない。例えば、P23の「1-1-1 大気環境の保全の取り組みに対する評価」について、具体的な取り組みで、「指導します」と記載があり、実施状況でも「指導しました」と記載があるので、もう達成しているのではないかと思うが、その評価が3である。例えば数値目標があって、その数値目標に対してクリアしていなかったら分かるが、これは3と4の違いは何があるのだろうか。

(事務局) 今の質問だがP20③取り組み全体の評価とあり、その下に5段階あった中で、「具体的な取り組み」の評価の区分も上記の表に同じと書いてある。中門委員の指導したのだから、目標達成したのではないかというご指摘はその通り。3ではなくて4が正しいと思う。

- (中門委員) 前の評価を見比べていくと、細かい数値目標がなく、結果としてはその通り行っているのに、なんで3と4の違いが出てくるのか。
- (事務局) これは定性的な評価となり、指導はしているので達成という意味で、3という評価ではないと思うので修正する。
- (中門委員) 定性評価だと、やった方と感じ方で評価が変わってきてしまうので、評価する方が同じ評価ができるとうい。
- (片谷会長) どちらかというやっただどうか評価の中心で、やった結果こういうメリットをもたらしたと言えるかどうかというのも入ってはいるだろうが、あまり表には見えてこない。中門委員の指摘は、やっただどうかだけではなく、やって効果があったかどうかの評価に変えた方が良いのではないかという指摘だと思う。これも事務局で、検討いただけるか。このようにできない目標もあるとは思いますが、できるものはやっただかどうかだけではなく、効果がみられたかどうかで判定しておいたほうが良いだろうとは思っているので、事務局でも検討してみしてほしい。

**(3) 第3次寒川町環境基本計画の中期見直しについて
事務局より中期見直しの概要を説明。**

～質疑～

- (片谷会長) そもそも長期的な計画は一回作ったら、最後までやり通すという性質のものではないと個人的には思っている。何年後かけて、進みましょうという計画なので、見直しが発生する方がむしろ自然だろうと思う。
- (松久委員) 資料3の必要性について。P6の「基本目標2」で生き物の生息空間を保全し生物を確保する中で、保存樹木樹林を目指したいとあるが、これは個人のもの。見直すというのも非常によくわかるが、環境を維持する立場からすると、本来町としてはその木を切るとか、そういうことをやってもらいたくない。このままどんどん発展していき、人口が今の倍になれば保存樹木樹林を切っていくことになる、するとこの項目自体が全く成り立たない。町としては、この現象をどこまでにしたいかという目途があるのか。今抱えている保存樹木樹林は37本だったか。
- (事務局) 目標が48本に対して、31本。
- (松久委員) このまま減っていくので、どこまで抑えたいというのを決めた方がいいのでは。方法論としては、町として買い取るのが一番いい。どういうことでどこま

	<p>でどうしたらかっていうのをもう少し見えるようにしていただけるとありがたい。それから、P6の「4.現時点での見直しの具体例 基本目標1」小出川だが、何が原因で後退しているのかみえないと、見直しだけではさらに後退すると思う。生活排水を流さないように個人的に努力していても、業者は業務を拡大しないと収益が上がらないということになると、綺麗になることはありえない。監視だけでいいのかと、以前の畜舎の機械が壊れてというのも監視ではよくならない。監視というのは出た結果をみるということと、抜き打ちで監視する方法とあるが、どちらのことを言っているのか。</p> <p>(事務局) 継続監視というのは、私たちが寒川町以外のところに行くことは出来ない。</p> <p>(松久委員) 事後監視のことか。</p> <p>(事務局) それで連携という記載をしている。</p> <p>(片谷会長) 先ほどの議論でその連携の努力をもっとする必要があるという認識は合意したはずなので、目標に書き込むということではよいのではないか。ただ実際に今後どこまで連携できるのかというのは、また別の意味が出てくるが、連携の強化を図るという目標を掲げておくということで、今日の、見直しの内容の検討に関してはそれでいいかと。</p> <p>(松久委員) 問題ない。</p> <p>(片谷会長) 中長期の目標設定で見直しを全くしないという手はない。基本随時見直しをするに近いぐらいでもおかしくない。これは今日確定でなくてもよいか。</p> <p>(事務局) 見直しについては、見直すべきという結論が出れば中身についてはこれからでよい。</p> <p>(片谷会長) 今後具体的な見直しの意見を遠慮なく発言いただいて構わない。今日ここで見直すということに関して異論がなければ承認されたという扱いをさせていただきたい。(異論なし)見直しを行うという方向性に関して、承認させていただく。</p> <p>(4)その他 ※連絡事項 ・第2回の審議会日程について、8/27(火)の午後2時から役場東分庁舎第1会議室で開催予定。資料については可能な限り1週間前にお届けする。 ・本議題に対する意見については8/6(火)までに環境課まで提出。 ・資料送付方法。メール送付を希望する委員は事務局までお声がけを。</p>
--	--

	<p>6 閉会 三島副会長あいさつ</p> <p>以 上</p>
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 委員名簿 ・ 令和5年度版寒川町環境報告書（案） ・ 中期見直しに向けた町民アンケートの回答比較 ・ 前期期間における環境指標等の達成状況 ・ 中期見直しの必要性について
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	<p>大野雅義 初鹿輝幸</p> <p>令和6年8月21日（水）確定</p>